

## 授業展開例（生活）

1. 学年 第1・2学年

2. 単元名 「いっしょにあそぼうよ」

内容項目 (3) 地域と生活 (6) 自然や物を使った遊び

3. 単元について

昔からある遊び、身の回りにある自然や物を使った遊びを取り上げ、地域の人々と触れ合う活動を通して、教わる楽しさ、認めてもらえる喜びを実感するなかで、遊びを創っていく想像力を育てるとともに、地域に親しみをもち、人々と適切に接することができるようになることをめざしている。

4. 主たる単元目標

- ・身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりして遊びを工夫し、みんなで楽しく遊ぶことができるようにする。
- ・地域の人々と親しみをもち、適切に接することができるようにする。

### 【普遍的視点】

#### 自尊感情

- ・できる喜び、周りの人に認めてもらえる喜びを味わわせることで、自分を肯定的に捉えさせる。

#### コミュニケーション能力

- ・地域の人々に教えてもらう楽しさを体験させ、自分が工夫した遊びを友だちに伝えていこうとする態度を育てる。

#### 他者理解

- ・友だちの技や遊びの工夫に着目させる。

5. 指導計画（全30時間）

第1次 おじいちゃんおばあちゃんとあそぼうよ（14時間）

第2次 中国の留学生さんとなかよくなるう（7時間）

第3次 地域の人々となかよくなるう（9時間）本時1時間目

6. 評価規準（第3次）

	ア.生活への関心・意欲態度	イ.活動や体験についての思考・表現	ウ.身近な環境や自分についての気づき
単元の 評価規準	地域の人々とのかかわりを楽しみながら、昔からの遊びに関心をもち、教えてもらったり、他の人に伝えたりしながら楽しく交流しようとしている。	道具を工夫したり、遊び方を考えたり、地域の人々との接し方を考えたりして、楽しく遊んだことを表現することができる。	友だちや地域の人々に遊びを教わりながら、周囲の人の励ましを受けてできることがふえていることに気づき、喜びを感じている。
わくわく 楽しみだ な！  (本時)	友だちの技を見て、自分もやってみようとしている。 みんなが楽しめる会になるよう準備をしようとしている。	友だちの技のすごさを発見することができる。 楽しい会になるよう自分の考えを出すことができる。	みんなの技がうまくなったことに気付いている。 周りの人の気持ちを考えてかかわりをもつと、楽しい交流会ができることに気付いている。

楽しもう！ 地域の人と	地域の人々に声をかけて 交流会を楽しもうとして いる。	地域の人々に適切に接しな がら、知りたいこと、見て ほしいことを自分なりに表 現できる。	地域の人々とかかわり合う楽 しさに気付いている。
伝えるよ！楽し かったことを	地域の人々や友だちと遊 んで楽しかったことを進 んで伝えようとしている。	地域の人々や友だちと遊ん で楽しかったことを絵や文 などで表現し伝えることが できる。	みんなで遊ぶ楽しさや地域の よさなどに気付いている。

## 7. 指導と評価の計画

「小単元名」(時数) : ねらい, 学習活動	評価規準	評価計画 : 評価の視点, ( )評価方法
<p>「わくわく楽しみだな！」(3)</p> <p>みんなが楽しめる会になるよう、意欲をもって準備や計画をする。(本時1時間目)</p> <p>その後うまくなった友だちの技を見せ合う。</p> <p>さらにうまくなりたいことを発表し合う。 交流会をもち、願いをかなえてもらうことに気付く。</p> <p>交流会に向けて準備をする。 ・プログラムの決定 ・係、役割分担(司会,ゲーム説明,練習計画立案)</p>	<p>アの イの ウの</p> <p>アの イの ウの</p>	<p>友だちの技を興味深く見ようとしている。(行動) 友だちのよくなったところやびっくりしたことを伝えようとしている。(発表・つぶやき) うまくなりたいという課題を解決するために考えを出そうとしている。(発表・つぶやき)</p> <p>楽しい交流会になるよう考えを出したり、準備をしている。(カード・行動・発言)</p>
<p>「楽しもう！地域の人と」(3)</p> <p>地域の人々との関わり方を考えて、自分たちのうまくなったところを見てもらったり、教えてもらったりして、交流を楽しむ。 自分の技を力いっぱい発表する。</p> <p>教えてもらいたいことを伝え、習っていく。</p> <p>ゲームなどをいっしょに楽しむ。</p>	<p>アの イの ウの</p>	<p>自分の発表をのびのびとしている。(行動)</p> <p>教わりたいことを伝え、意欲的に習おうとしている。(行動・発言・つぶやき)</p> <p>地域の人々と交流する楽しさに気付いている。(行動・発言・会話)</p>
<p>「伝えるよ！楽しかったことを」(3)</p> <p>交流会をして、うまくなったことやできるようになったことを、地域や全校のみんなに紹介する。 紹介することの計画を立てる。</p> <p>紹介したいことをまとめたり、練習をしたりする。</p> <p>発表する。 (できるようになって)見てもらいたいこと・技・こつ・地域の人とかかわり</p>	<p>アの イの ウの</p>	<p>教わった遊びで、紹介したいことや伝えたいことを、進んで発表したり、準備したりしようとしている。(カード・行動・発言・会話・つぶやき)</p> <p>分かりやすく伝えるために、工夫して表現しようとしている。(行動・会話・作品・発表)</p> <p>準備や発表の中で、自分や友だちが、地域の人々とかかわり合いを楽しんでいることに気付いている。(会話・発表・振り返りカード)</p>

## 8. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・友だちの発表を見て、自分ももっとうまくなりたいという気持ちを表現する。

### (2) 準備物

遊び道具 第1回交流会時の写真 遊び方の説明カード

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項		評価規準	評価方法
	T1	T2		
<p>1. これまでの学習をふりかえる。</p> <p>2. 本時のめあてを知る。</p>	<p>夏休みや、休み時間などに練習してきたことを紹介させる。</p>		<p><b>自分が工夫したところを説明しようとしている。</b></p>	<p>発表</p>
<p>3. うまくなったお互いの技を発表し合う。</p>	<p>自信をもって発表できるよう発表する側の児童を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまで、つばめ返し</li> <li>・片手で二つお手玉</li> <li>・あやとりで扇...等</li> </ul>	<p>友だちのすごさに気付けるよう発表を見る側の児童を支援する。</p>		
<p>4. 友だちがうまくなったところや気付きを交流し合う。</p>	<p>どうだったかな？ みんなのわざは？</p>	<p>1学期に比べてうまくなったことや、やってみたいことなど発表するよう声かけをする。</p>	<p><b>友だちの技のすごさに気付いている。</b></p>	<p>発表 つばやき</p>
<p>5. 自分がもっとうまくなりたいことなどを出し合い、願いがかんうにはどうすればいいか話し合う。</p>	<p>それぞれの遊びごとに、次にできるようになりたいたいことを発表し、その実現に向けて話し合わせる。</p> <p>地域の中に名人さんがおられないか、思い起こさせていく。</p>	<p>・こまを友だちから教わりたい。</p> <p>・本のわざをもっと練習したい。</p> <p>・近所の上手な人に教えてもらいたい。</p>	<p><b>次にできるようになりたいたいことを発表しようとしている。</b></p>	<p>発言 つばやき</p>
<p>6. 次時の予定を知る。</p>	<p>交流会へ向けて計画を立て、準備や練習をしていくことを伝える。</p>		<p><b>課題解決へ向けて、考えようとしている。</b></p>	<p>様子観察</p>

9. 評価

- ・できるようになったことに喜びを持ち、その技を仲間にも伝えることができたか。
- ・話し合いに積極的に参加できたか。 **【コミュニケーション能力】**
- ・自分たちの課題の解決に向けて、積極的に考えようとしたか。